

広報かみいち総合病院

第51号 令和8年(2026年)3月発行



編集・発行 上市町(かみいち総合病院)
〒930-0391 富山県中新川郡上市町法音寺51番地
TEL.076-472-1212 FAX.076-472-1213
E-mail:kanri@kamiichi-hosp.jp
URL:https://www.kamiichi-hosp.jp/



御挨拶

院長 佐藤 幸浩

本誌の発行にあたり、日頃より当院の運営にご理解とご協力をいただいております地域の皆様に、心より感謝申し上げます。

当院は、一般急性期病棟51床、回復期リハビリテーション病棟48床、地域包括ケア病棟49床、精神科病棟51床の計199床を有し、住民の皆様の命と暮らしを支える地域の中核医療機関です。病院の理念である「住民が安心して地域で暮らし続けるための医療の砦として私たちの病院が存在する」の言葉どおり、当院は「病気を治す場所」ととどまらず、住民の皆様が住み慣れた場所で人生を安心して歩み続けていただくことを支える役割を担っています。残念ながら、規模や設備の状況もあり、全ての急性期医療に対応することはできませんが、当院で対応可能な急性期医療については、医療の水準を落とすことなく対応してまいります。

あわせて、当院は在宅療養支援病院として訪問診療にも取り組み、急性期医療から回復期、在宅医療に至るまで切れ目のない医療を提供しております。地域の保健、福祉、医療機関や介護福祉施設と連携し、患者さんやご家族の思いを尊重し、住民の皆様ができるだけ長くその人らしく、望むところで過ごせるよう、そして最期のときも望むところで迎えられるよう取り組んでいます。このほかナイトスクール(去年はデイサロンとして開催)や認定看護師を中

心とした出前講座などを通し、健康や医療に関する情報の提供にも努めるとともに、共に生きること、命について考える機会を今後も持ち続けていきたいと考えています。

また、昨年から上市町の骨粗鬆症ゼロ事業も始まりました。こういった取り組みなどを通し、町民の皆様の健康寿命を延ばすことにも寄与していきます。

一方で、病院経営を取り巻く環境は年々厳しさを増しております。良い医療を安定的に提供し続けるためには、経営の健全化も避けては通れません。限られた医療資源を最大限に活かしつつ、地域に必要とされる医療を持続可能な形で提供するため、職員一丸となって創意工夫と改善に取り組んでまいります。

当院の医療を支えるのは、職員一人ひとりの力です。職員が働きがいと誇りをもって日々の業務にあたり、互いを思いやり、尊重しながら安心して働くことのできる職場環境を大切にしていきたいと考えています。職員が心身ともに健やかに働ける環境を守ることは、より良い、安心、安全な医療を提供するための大切な要素です。このためにも住民の皆様のお力添えをいただけましたら幸いです。些細なことでも温かいお声かけやご配慮をいただけますことが職員一同の大きな励みとなります。何卒、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さらに、本年は病院機能評価の更新も予定されております。これは当院の医療の質と安全を客観的に評価していただく大切な機会です。全職員がよりよい病院づくりに向けて力を合わせ、地域にとってなくてはならない病院であり続けるよう努めてまいります。

これからも住民の皆様とともに歩む病院として、「安心して暮らし続けられる地域社会」の実現に貢献してまいりますので、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

基本理念

「住民が安心して地域で暮らし続けるための医療の砦として私たちの病院が存在する。」

基本方針

- 1 患者さんへの思いやりを第一とし、患者さんの尊厳と権利を尊重し、十分な説明と同意のもとに患者さんと共に創出する医療を提供し、患者中心の全人的医療を行います。
- 2 職員一人一人が「病院の顔」であることを自覚し、医療倫理を守り、真摯な態度で医療に取り組むことで安心・安全・良質な医療を行います。
- 3 専門職としての誇りと目標を持ち、常に研鑽を重ね、知識・技術・医療水準の向上に励みます。
- 4 全ての職種が互いに信頼し協働して、多職種連携による充実したチーム医療を行います。
- 5 地域の基幹病院・在宅療養支援病院として医療・福祉・介護・保健分野と連携を促進し、地域包括ケアシステムの一翼を担う地域完結型医療を目指します。
- 6 住民との交流イベントや啓蒙活動を通じて、地域住民の健康増進と町づくりに貢献する地域に開かれた病院を目指します。
- 7 職員が働く喜びと誇りを持ち、安心して働ける充実した職場環境を整備し、明るい病院づくりと人材育成に力を入れます。
- 8 自治体病院としての公共性を担いつつ、経済性を考慮した健全で効率的な病院経営に努めます。

地域包括ケアシステムの推進

リハビリテーション技術科

リハビリテーション技術科では、地域包括ケアシステムの一翼を担うべく、院内業務だけでなく、訪問業務や地域包括支援センターと協業して事業に取り組んでいます。地域包括ケアシステムとは、高齢の方が住み慣れた地域で自分らしく生活を続けられるように、医療・介護・住まい・生活支援が一体となって支える仕組みのことです。

厚生労働省が推進するこのシステムの目的は、「できるだけ自宅や地域で暮らせるようにすること」です。

リハビリテーションは、「けがや病気をしたときにするもの」「年齢を重ねた方がするもの」とイメージしていられる方が多いと思います。もちろん、入院時のリハビリも重要ですが、地域でいかに生活を続けていくか、介護状態にならないか等を考えていく予防的関りも必要です。

具体的には、訪問型サービスC（短期集中予防サービス）や地域ケア個別会議への参加などです。訪問型サービスC（短期集中予防サービス）は、閉じこもり等の心身の状況のために、通所による事業への参加が困難で、訪問による介護予防の取組みが必要と認められるものを対象に、その方の居宅を訪問して、その生活機能に関する問題を総合的に把握、評価し、社会参加を高めるために必要な相談・指導等を実施しています。地域ケア個別会議とは、高齢者や障害者などの支援が必要な人々が住み慣れた地域で安心して生活できるように、関係機関や専門家が連携して個別の課題や地域の問題を話し合う会議です。リハビリ専門職の視点から助言や提案をしています。

今後もリハビリ専門職として、地域のニーズに応えられるよう邁進していきます。

上市町立上市中学校「いのちの授業」

看護部

高齢多死社会を迎えるこれからの時代、家族の死や介護に向き合う機会はますます増えていくと考えられます。こうした背景を踏まえ、令和4年には小学6年生を対象に、令和5年からは上市中学校1年生を対象に「いのちについて一緒に考え、一緒に話そう」をテーマに「いのちの授業」を実施してきました。令和7年12月5日・8日の開催で3年目を迎えました。

この取り組みは、小中学生の段階から「死」を含めたいのちの教育に触れることで、生命の尊さを理解し、将来家族の死に直面した際に、本人の意思を尊重した関わりができるようになってほしいという願いを込めています。人の一生は一度きりであり、「死」も「生」と同じように尊いものであることを伝えるとともに、これからの社会で家族の死や介護に向き合う際に大切となる視点を学ぶ機会としています。

授業には、2～5年目の若手看護師も参加し、グループワークのファシリテーターを務めました。生徒が「死」について同級生や周囲の人と話すことは、気

恥ずかしさや悲しさから言葉が出てこない場面もありますが、看護師は生徒に寄り添いながら思いを引き出し、安心して語り合える雰囲気づくりに努めています。

グループワークでは、「思い出をつくる」「そばで見守る」「できないところを手助けする」など、人が死にゆく過程で自分たちにできることについて多くの意見が挙がり、自分の身近な死について真剣に語る生徒の姿が見られました。授業後には「いのちの重みを感じた」「今後に生かしたい」などの感想が寄せられ、生徒にとって貴重な学びの機会となったことがうかがえました。また、若手看護師自身にとっても終末期看護を考える機会となり、人材育成にもつながる取り組みとなっています。

今後も、生命の尊さや本人の意思を尊重した関わりについて地域の子供たちと共に学び合い、未来へつなげていきたいと考えています。

骨密度検査を受けて

かみいち町で100年時代を生きる

令和7年10月から町が実施している骨粗鬆症ゼロ事業について、当院・整形外科医長の高嶋勇人先生にお話を伺いました。

骨粗鬆症ゼロ事業はどのような経緯で始められたのでしょうか？

高嶋 当院における骨粗鬆症患者の人数が「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン」に記載のある骨粗鬆症の有病率を考慮するとかなり少ないのではないかと思ったことがきっかけでした。これは、骨粗鬆症という病気を自覚することが難しく、骨折を契機に骨粗鬆症であったことが判明することがあるという、その病気の性質によるところが大きく起因しているものと考えています。厚生労働省の国民生活基礎調査によると、介護が必要となった主な原因として、骨折・転倒が全体の3位に挙げられていることから、骨粗鬆症の防止を図ることは、町民が元気に健康で長生きするための重要な課題です。

そこで、骨粗鬆症という病気の性質及び骨粗鬆症に起因する将来の骨折の予防方法を認識する機会を町民に提供する事業（骨粗鬆症ゼロ事業）を町を挙げて実施するよう提案し、今秋から実施することとなりました。



<略歴>
高嶋 勇人 (たかしま・ゆうと)
平成21年自治医科大学卒業。富山県立中央病院、公立南砺中央病院内科にて勤務し、その後、利賀診療所所長、南砺市民病院や富山県済生会富山病院で整形外科医としてキャリアを重ね、令和4年10月に当院へ赴任。現在は整形外科医長 兼 リハビリテーション科長を務める。

骨粗鬆症ゼロ事業の内容や特徴について教えてください。

高嶋 骨粗鬆症ゼロ事業とは、①病院ライトアップ事業、②当院の健診センターにおける骨密度検査の受診の勧奨、③医歯薬連携により行う骨密度検査の受診の勧奨、④骨密度検査の誕生月ワンコイン検診事業の四つの事業の総称をいいます。②と③の事業については実施時期・内容を調整中ですが、①と④の事業については既に実施した又はしているところです。本事業を通して実施する骨密度検査は、町が通常実施している前腕の骨密度を測定する検査と異なり、骨粗鬆症による骨折が発生しやすい部位である腰椎・大腿骨の骨密度を測定する検査であり、より正確に骨粗鬆症の診断を行うことができます。これまでの骨密度検査で正常と診断された方も、一度この機会に、本事業による骨密度検査を受けてみていただければと思います。

1 病院ライトアップ事業

事業内容

10月に、世界骨粗鬆症デー（10月20日）のイメージカラー（青）で当院の屋上（西側）をライトアップし、骨粗鬆症ゼロ事業を行っていることを対外的にアピールするものです。



ライトアップの様子は、左のQRコードから視聴できます。



ライトアップされた当院屋上

2 健診センターにおける骨密度検査の受診勧奨

実施時期・調整中

事業内容

当院の健診センターにおいて、健診の待ち時間にフラックス（※1）を行うことを勧奨し、将来に骨折の危険があると判定された方に骨密度検査の受診を勧奨するものです。

3 医歯薬連携による骨密度検査の受診勧奨

実施時期等・調整中

事業内容

かみいちモデル構想（※2）における医科歯科連携を医歯薬連携に拡大し、連携薬局でフラックスを一定の患者さんに勧奨してもらい、将来に骨折の危険があると判定された方に当院の外来受診を勧奨してもらうものです。

※1 フラックス
世界保健機関の国際共同研究グループが作成したプログラムで、40歳以上の方を対象として骨粗鬆症による骨折が向こう10年のうちに発生する確率を計算するもの

※2 かみいちモデル構想
骨粗鬆症の予防又は治療に使用する薬のリスクを減らすため、当院と町内（現在は、中新川郡に拡大）の歯科医院が連携し、骨粗鬆症の治療等に係るほぼ全ての症例に対して、あらかじめ歯科スクリーニング及びそれに伴う治療を実施するもの

骨密度検査の誕生日ワンコイン検診事業

事業内容

事業対象者が、骨密度検査の優待券の有効期間内に、当院における骨密度検査を500円（通常4,500円）で受診することができるものです。

事業対象者

上市町民のうち、当該年度において60歳以上70歳以下に達する男性又は40歳以上70歳以下に達する女性の方で、骨粗鬆症の治療を受けておらず、かつ、過去に本事業を利用されたことがない方

優待券

事業対象者の誕生日にはがきで発行され、郵送されます。

有効期間は、原則、発行日からその翌々月の末日まで（おおむね3ヶ月）です。



優待券（裏面）



優待券（表面）

使用は一回のみで、使用した年度の翌年度以降は発行されません。

予約

予約はこちら➡



完全予約制（1日につき6人（1枠20分））で、スマホを使用して予約を行う必要があります。

予約期限は受診希望日の前日、予約取消期限は原則予約日の3日前の日です。

なお、同時に複数の日時予約を行った場合、優待券の有効期間外における受診を予約した場合、受付時間に受付をせず、予約枠時間内に検査の実施が難しい場合等は、予約が取り消されることがありますので御注意ください。

当日の受付

受付場所は当院の健診センターです。受付時間は予約枠・開始時間の10分前です。受付の際は、優待券を健診センター受付職員に提出して行います。

料金精算

骨密度検査の受診日に健診センターにおいて「現金」で行います。



つるぎフェスティバル in かみいち 2025 に出店しました

かみいち総合病院は、令和7年11月9日（日）に開催された「つるぎフェスティバル in かみいち 2025」に、富山県看護協会上市支部と共同で出店しました。

今回は「自分の健康を知って、のびそう健康寿命！」をテーマに、多くの方に健康づくりへの関心をもってもらえるよう、さまざまな体験や相談コーナーを実施しました。当日は雨天のなか、多くの皆さまがご来場くださ

り、健康への高い関心を実感するとともに、交流を通じて地域医療への理解を深めてもらえる大変有意義な機会となりました。ご参加いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。

当院は、皆さまが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、引き続きさまざまな取り組みを進めてまいります。

当日の主な内容

- ・看護協会「まちの保健室」 血圧測定、体脂肪測定、血管年齢測定
- ・健康相談（健康・介護・フレイル予防）
- ・糖尿病予防・栄養相談
- ・医師・看護師による健康相談コーナー
- ・骨密度測定、骨折リスク評価、簡易な運動評価、血糖値測定
- ・ちびっこ体験コーナー ナース服・診察衣の試着、お菓子釣りゲーム



病院ボランティア「温もりの会」善行表彰受賞おめでとうございます

令和7年10月31日に開催された令和7年度上市町表彰式において、長年にわたり医療分野でのボランティア活動に取り組んでこられたことが評価され、病院ボランティア「温もりの会」様が善行表彰を受賞されました。心よりお祝い申し上げます。

「温もりの会」は、平成7年11月29日に病院ボランティア活動を組織化し発足しました。以来、約30年にわたり、患者さんに寄り添う温かい支援を続けてこられました。

現在の活動内容は、患者さんの案内、車の乗降時の介助、院内での車椅子利用者のサポートなどで、どの活動も患者さんが安心して受診できる環境づくりに欠かせない大切な役割を担っています。

令和7年12月現在、12名の会員の皆さんが活動を続けておられます。地域医療を支えるその姿勢に、職員一同深く感謝申し上げます。



ボランティアの会員募集中!! 問い合わせ先 病院総務課まで